

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2010 年
8 月号

VOL.346



HP情報

○「第6回住まいのまちなみコンクール」について



目次

① 建築探訪

③ 会員建築作品紹介

⑤ 歴史的建造物を訪れて

⑥ シリーズ名経営者の建築と風水（8）

⑦ 上海にある世界遺産「豫園」に見る風水

⑧ 支部便り

読者の広場

⑨ 木造住宅等の増改築に関する講習会 開催報告

旅のクイズ

⑩ 委員長会報告

⑪ 委員会活動報告

⑫ 神事協 歌壇・俳壇

賛助会新入会員紹介

建築探訪

『鎌倉ゆかりの建長寺を訪ねて』

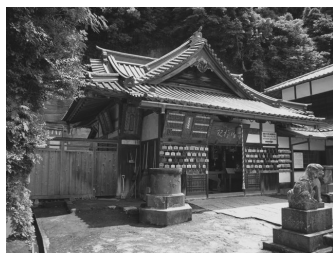
平塚支部 新倉 良一

1) 寺の開創

建長寺は巨福山（こふくざん）建長興国禅寺といい、鎌倉五山第一位の古刹で、臨済宗建長寺派の大本山である。開山は中国の僧 蘭溪道隆（大覚禅師1213年～78年）で、開基は、執権北条時頼（1227年～63年）「吾妻鏡」によると、建長3年（1251年）11月に寺の築構が企てられ、同5年11月25日に落慶供養が行われた。山号の巨福は巨福呂（こぶくろ）（小袋）の地名に、寺名「建長」は後深草天皇が定めた元号を用いている。朝廷の使用許可を得た執権時頼の強壮さがわかる。

建立の趣旨は、上は国家皇帝の万歳、將軍家および重臣の千秋、天下泰平方民和菓を祈り、下は源氏3代、政子ならびに北条一族の冥福を弔うことにあった。

寺が建てられる前の寺域は、地獄谷と呼ばれ罪人の処刑場になっていたと伝え、延宝6年（1678年）「建長寺境内図」に「地獄谷埋残（うめのこし）」「わめき十王跡」などと記されていて地獄谷の名が後世まで伝承されていたことがわかる。



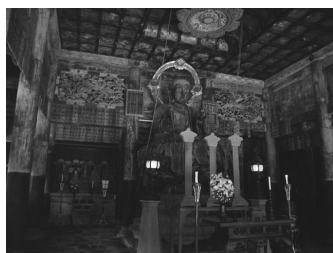
半増坊

2) 創建当時の諸堂の整備

建長7年（1255年）に梵鐘（国宝）が鑄造されたことは、建長寺がある程度の外観および教団として整えられた浄刹である、という意味を持つが、大規模な伽藍の造営にはさらに長期の歳月が必要であった。

たとえば、総門と法堂の創建は、仏殿の建立から20年後、時頼の13回忌が行われた建治元年（1275年）のことであり、当初から計画されていたとみられる。山門は仏殿造営から28年後、弘安4年（1281年）秋と考えられている。

往古の荘厳な姿を今にしのばせているのが、元弘元年



仏殿内部

（1331年）に造られた「建長寺指図」の写しである。総門、山門、仏殿、法堂などの主要な建物がほぼ一直線上に並び、庫院と僧堂とが山門から仏殿に達する回廊の左右にあり。浴室、西浄も山門まえ左右につくられるなど、左右対称の大陸的な配置法であることがわかる。

3) 発展の歴史

建長寺が最も盛んだったころの様子は、僧侶約1千人、寺領も膨大で末寺も400以上、搭頭49院を数えた。しかし荘厳な伽藍を構えた当寺も永い歴史を刻む間、たびたびの罹災で古い建物はことごとく焼失した。永仁元年（1293年）4月に地震、正和4年（1315年）7月ふたたび火災に見舞われた。鎌倉期、室町期、徳川時代にわたって、さまざまに再建された。



梵鐘

4) 現存の建築の見解

さきに、仏殿が現在残されている建物のなかで建立年1647年と最も古い。つづいて山門の建立、1775年に完成。総門の建立、1783年に完成。さらに、法堂1814年建立。

仏殿に安置されている、地藏菩薩座像、千手観音座像、地藏菩薩座像（旧本尊）脇横に仏寿禅師座像が安置されている。

仏殿の屋根は銅葺、巻きはぜで改修修理されている。仏殿本体の裏側に下屋の単層裳腰があとから設置されている。外部、左右に7本の柏檜（ビャクシン）が760年の歳月を経て今も生き続けている。

山門は、屋根に銅葺の修理が1954年に施工されている。

法堂は、仏殿より後で建立されている。屋根は銅葺で改修工事が施工されている。

石で囲われた基壇が法堂と仏殿に一体となって敷設されて



法堂内部

いる。

総門、山門、仏殿、法堂、方丈が一直線に並ぶ伽藍配置は、当時の面影を残すものと思われる。地形の関係で総門から山門の参道は一直線上から多少ずれている。

5) 現在の建物

総門は1783年建立、山門は1775年建立、そして仏殿は1647年建立で現存する建物のなかで最も古い。法堂は、1814年の建立、唐門は現在修理工事中。

その奥に龍峰院、天源院、正統院、回春院が建てられている。一番後方山上を登りつめると半増坊が1890年に建立され開設された。

各建物の東側の土地に同契院、嵩山門は、修行道場として、一般に公開され使われている。

一直線上に並ぶそれぞれの建物の内部は、梁に彩色が施されている。中央の天井に格子組の天蓋が施されている。仏殿と法堂の開き戸は外側に突き出た木材で扉の蝶番が取り付けられている。山門、仏殿、法堂、の束石は、山門は石、仏殿は木造り、法堂は石の束石が使われている。床敷き部分は石版が敷き並べられている。その他木組みは山門、仏殿は重層構造、法堂は軽い重層構造となっている。

建物の配置は創建当時と場所が多少ずれている。新しく造営された宗務本院、方丈は昭和に入ってからである。



半増坊内部

6) 今回訪問した建物について

古い寺などの、寺院はその建物のなかに、本尊となる仏像を安置することで、その建物を訪れる人々の礼拝の場所となり、その建物の使命

を与えている。建物を一直線上に配置することで建物それぞれに統一感を形成しそれらが一体となっている。このことは現代の建築物を考えるうえで、使用目的や利用する機能や設備等備品などを、各所に設計し、配置し生命を吹き込むことで、建物はその存在価値を持つ、キーワードとなる考えかたかと思う。



東側寺院

7) ふりかえって

7月の土曜日の半日、しばらくぶりで建長寺を訪れ、境内を散策しました。広い境内の一直線に並んだ仏殿等の後背地に、それぞれの時代に発展し造営された寺があり、一番奥に明治になって造営された半増坊があります。現在では寺の情緒を感じさせる唯一の場となり、多くの観光客が訪れています。つづらおりの階段をかなり登っていくと山上に半増坊があり、山の上からは寺の境内が見渡せ、汗をかいてほんとに登り詰めた所から遠くを眺めると展望が開け相模の海が見えます。一度は出かけてみてきわめる価値があります。興味があったら境内散策をお勧めします。



方丈裏庭園

案内：臨済宗建長寺派大本山建長寺
〒247-8525 鎌倉市山ノ内8番地
<http://www.kenchoji.com/>
TEL0467 (22) 0981
FAX0467 (25) 6316

Town View

撮影日：平成22年7月21日

左：東上野 河童橋通りから見たスカイツリー

右：かっぱ橋通りにある曹源寺（通称かっぱ寺）
河童の手首のミイラを祀っている河童堂です。



会員建築作品紹介

TOTSUKA
PALLSO 戸塚パルソ
TOTSUKA PALLSO

3号棟「加藤ビル」

■計画概要

用 途：店舗・診療所
構 造：鉄骨造4階建
建築面積：156.15㎡
延床面積：604.41㎡

旭町通りと言われた通りに面して、ほぼこの場所で永い間野菜や果物の小売りをしてきた八百屋が地権者であり、この場所で再開していることを市民に知らせたいとの強い要望を見据えて建物の設計が進められた。開発前は旭町通りに面した角地に位置して、広い間口を最大限利用して繁盛していたが、この計画する敷地の間口は約5間でかなり小さくなる。2階は戸塚駅から繋がる歩行者通路であり、バスターミナルと同一高さにあるデッキが広く開放され

横浜支部 (有)森山建築設計事務所 森山 恒夫

ている。そのために1階のレベルでは、デッキの柱が大きく立ちはだかることが計画をしている内に判明する。さらに、隣地には大型スーパーが出店することが決まり、小さな店舗は対面販売と新たな手法を編み出して、活路を求めざるを得ない。この考え方がベースとなってエレベーターや階段などのコアスペースの位置が確定した。

目一杯間口を利用して完成した建物は、多くの人々が店の前を行き来し店を覗いて、新鮮な野菜や果物を品定めしている。繁盛して欲しいと願ってやまない。

2階から4階まではテナントビルであり、医療関係の業種が入居を決めた。

高さ規制は当然ながら守る必要があり、色彩の統一・アクセントカラーの導入などが提案され、各棟がそれぞれ持ち寄った案が議論されていく。「ゆるやかな統一」という概念ができあがり、まちづくりへの寄与を意識して建物は完成した。

3



3号棟八百屋と吹抜けを通して見た上部



3号棟立面図

会員建築作品紹介



6号棟「カンパニユラ BLD」

■計画概要

用 途：事務所・店舗

構 造：鉄骨造4階建

建築面積：150.06㎡

延床面積：595.30㎡

この地は、これまで幾度となく水害にあって
いるため、そのことを考慮した設計を求めら
れる。高床式の計画・ピロティを持つ計画・5
階建ての計画などなど、幾度も計画の練り直し
がおこなわれる。紆余曲折の果て、5階建ての
設計が終了した・・・筈だが、結局変更を余儀
なくされて4階建てに落ち着く。それに掛けた
労力はなんだったのだろう。それでも、めげず
に進められたのは何かにつけ相談を受ける度量
の大きいチーム7人の和があったから。権利者



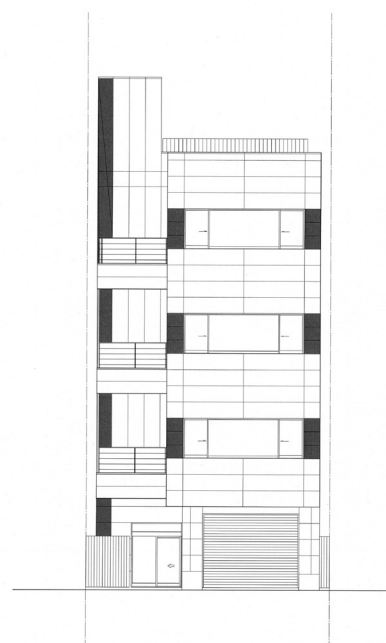
6号棟外観

横浜支部 (有)森山建築設計事務所 森山 恒夫

は高齢であるため、小売業としての出店は見送
り、全ての階をテナントに貸すことになった。
また、衣料関係に関わっていたこともあり、内
外の色彩計画にはとても良い感覚を持ってい
て、スムーズに詳細を詰める事ができ、信頼関
係が築かれていく。

1階は地元の不動産業が事務所として使い、
上階は床屋・エステなどの衛生関係が入る。計
画当初から、どんな業種にも対応可能とするよ
うに設計が進められているため、ダクトが実装
され二重床として全館飲食関係にも対応が出来
るようになっている。

前面道路である図書館通りを挟んだ向かい
側の敷地では公益施設の建設がこれから始まる
が、図書館通りの完成はまだまだ先のことであ
り、人の流れも大きく変わっていくこととなる
であろう。4階建てで大した大きさは無いが、
戸塚駅ホームから垣間見える建物の存在は、
ちょっと楽しみとしている。



6号棟立面図

仁科神明宮

横浜支部 千賀 義二

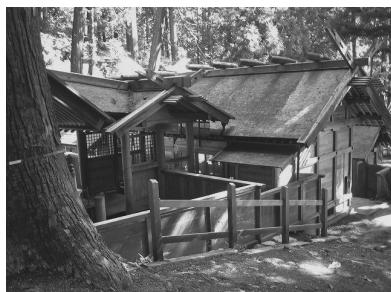
鎮座地 長野県北安曇郡大町

糸魚川と松本を結ぶ、糸魚川・姫川に沿った糸魚川街道は、北国街道とも呼ばれ、出雲豪族が松本への街道として利用した古代の街道と考えられています。

この街道沿いの木崎湖の畔に古族仁科氏の古城跡があり、そこを囲む森、大町の南に仁科神明宮が鎮座しています。社殿を囲む三方の森は長野県天然記念物に指定された社叢で社殿は南に面した山の斜面に建っています。入口に近い部分と社殿周辺には、特に老巨木が多く、杉と檜が多い。境内に入ると、すぐに樹齢八百年を越える杉の神木が聳えています。神社の創祀の年代は明らかではありませんが、建久3年(1192)の文書に「仁科の御厨は往古の建立地」と記載があり、平安時代中頃の、御厨設定の時期であると考えられます。当時、この地一帯



神明宮社殿



神明宮社殿2



神明宮境内

は伊勢神宮の御領として「仁科の御厨」であり、伊勢神領に置かれた年貢収納の為の役所・序(かんだち)を母体とし、後に神明宮、神明社と呼ばれた御厨の鎮護の社と考えられます。神社には、永和2年(1376)の造営の時の棟札が残されていて、この地を治めた古族仁科氏が代々20年に1度の式年造営を行ってきたことがわかります。天正10年(1582)に仁科氏が滅んだからは、松本藩主の祈願所・仁科66郷の総社として引き継がれ、明治以降は地域の人々の崇敬により現在に及びます。

社殿は、本殿(切妻神明造・木造檜皮葺)と中門(切妻造平入・木造檜皮葺)と、両者を連絡する釣屋とから構成されています。本殿は、桁行3間、梁間2間、神明造で、破風板がそのまま延びて千木となり破風板に鞭掛があり、妻には、棟持柱があるなど、構成手法に古式がうかがわれ、細部は大体室町時代の様式を伝えています。

江戸時代初頭の寛永13年(1636)以後は、それ以前建てられた社殿の部分修理にとどまってきたため、本殿、中門、釣屋は日本で最も古い神明造りの形を遺しているということで、昭和11年に国宝に指定され、法改正で昭和28年に再指定されています。



御神木



鳥居

シリーズ 名経営者の建築と風水 (8)

<石原慎太郎氏に学ぶ>

県西支部 稲葉 勉

小説家にして政治家、国会議員そして東京都知事として3期、10年を超えて東京を支え日本を変えようとしている男、石原慎太郎氏。公式サイトタイトルの見て驚いた「宣戦布告」である。まさに数少ない日本の風雲児。公の経営という公共経営者として、風水にまつわることが何かあるか調べてみました。

－あの東京マラソンは風水理論で東京湾の気を東京都庁に送っていた?!－

風水的知識を石原慎太郎都知事は知っていて都市計画を実行している。そんな噂が立っていました（いわゆる都市伝説）。昔は、東京湾の緑豊かな風が、都内に入ってきて、その風が非常にいい影響を及ぼしているという風に考えられていた。ところが、近年いろんなビルが立ってしまい、東京の中心部に東京湾の風が入ってこなくなりました。だから、経済が低迷化しているという説です。

そこで、マッカーサー道路という計画が復活したそうです。

復活させる理由は石原慎太郎東京都知事はこれを見て、この道路を復活させれば景気が回復すると読んで、復活させたというのです。東京湾から新宿まで一本の大きい道路（マッカーサー道路）が貫かれています。これによって東京湾の気が、東京都庁まで来るようにしようという訳です。

そのマッカーサー道路と言うのは、正式には「都道環状2号線」という。新橋4丁目の第一京浜から柳通り、赤煉瓦通り、愛宕通り、桜田通りを横切り、虎ノ門病院、JTビルをかすめて

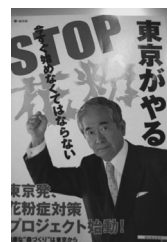
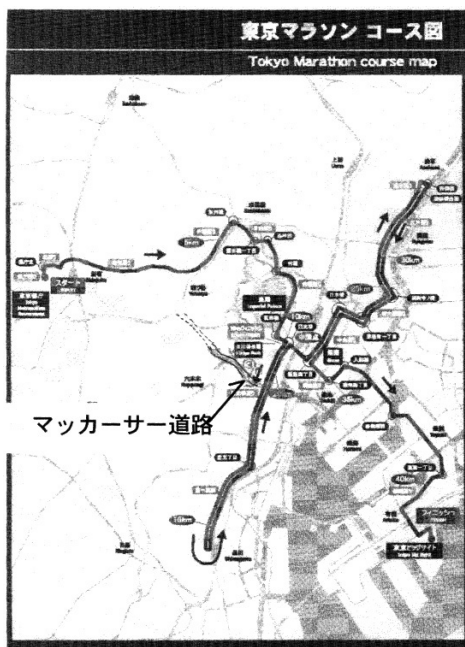
外堀通りへと続く1.35kmの道路である。終戦当時、米軍が虎ノ門の米国大使館から竹芝桟橋までを巾100mもの軍用道路を要請したとされるものです。現在は幅40mに縮小され、大使館のルートもやや北寄りに変更となったのですが、なんと総事業費およそ2200億円で11年度末に完成を目指しているのです。

でも風水では、ただ単に道路を作るだけでは駄目で、東京湾からプロペラのようにかき上げて、

気をかき上げて回転するプロペラを作らなければならない。それが、図のようにクロスの形をした、東京マラソンのコースというのです。それがマッカーサー道路の末端についています、そして、風車のような十字になっています。あれは人が十字の形をぐるぐるぐるぐる回ることによって、十字のプロペラがくるくる回って東京湾の気を汲み上げて、新宿に送り込むという一つの仕組み何だというのですが、どう思いますか、一概に未知な領域を否定するのは簡単ですが、神社の鳥居の

意味とか結界とかわからないけど信じていることは結構ありませんか。

マッカーサー道路が通路であるならば、モーターが東京マラソン。都知事はそこまで分かって東京を再生しようとしているのかもしれないよ、石原都知事は実際「小説家」なんです「事実は小説より奇なり」。もうすぐ道路は完成します、2012年東京マラソンが開催され都庁によい気が入り込み、弾みで日本はいい方に変わる。きっとそんな筋書き考えていますよ。



上海にある世界遺産「豫園」に見る風水

川崎支部 恩田 耕爾

風水（ふうすい）とは読んで字の如しで、「風とか水が淀みなく循環する様をよし」とする考え方ではないだろうか？風水は、古代中国の思想で、都市、住居、建物、墓などの吉凶禍福を決定するために用いられ、気の流れをよくすべく、建物の向き、形、位置などで制御する思想で、よどみなく循環するさまが吉相と考えられます。風水上、都市やそこにある住居がよければ、子孫が繁栄するということになります。

風水には、「地理」、「堪輿」、「山」といった別名がある。地理は天文と対をなす語で地形、堪輿は天地を意味し、地相を見るための理論という意味で「地理」という。地理五訣の内訳は「竜・穴・砂・水・向」の五項目のようです。

「竜」：とは、土地の起伏やうねり、山脈や尾根筋などの形状を神獣である竜に例えたものである。

「竜」は「貴賤」を司るものとされる。起伏が良く、生き生きとした「竜」を「貴竜」といい、多くの「気」が集まり、住む人の身分や地位を高くするという

「穴」：とは、「竜」のなかの位置のことであり、「竜」に囲まれて特に多くの「気」が集まるところを「竜穴」と称し、非常に尊ばれる。

「砂」：とは、「穴」の周囲の空気や、周囲にある土砂や、丘や建物などの固形物のことである。きれいな空気や、泥濘になったり塵埃が上がったりしない土地また適度な高さの丘や建物などを「寿砂」といい、住む人を健康や長寿に導くという。

「水」：とは、「水流」のことであり、「穴」の周囲の河川や道路など、水や車、人間などの通る道全般を言う。「水」は、住む人が金持ちか貧乏かを決定する要素とされる。「穴」の周りを取り巻いて流れるような「水」を「抱水」といい、そこに住む人は、いつも予定した以上の金銭が入り、出費もすくなく次第に金持ちになる。

「向」：とは、建築物、墓地等の表面側が向く方位を、易卦や干支などの理論によって、良し悪しを判断する。「向」が良ければ成功することができ、「向」が悪ければ、住む人は失敗することになるという。

建築では神社は大体、小高い丘の上にあり、風がよく抜け、水の流れも滞ることもなく流れる位置に置かれています。海に近い神社では海に神社の正面を持っていくと海風が神社境内を通り抜け気持ちよい空間構成ができます。

住宅では玄関口を東南の方向に持っていくと、日の光と風が部屋の中まで通り抜けて気持ちがいいです。住宅密集地に家を建てることや、大きな建築物の横に建てるとう風通しが悪くなり、風水的にも凶相となります。



豫園にある風水石（穴があき、風が抜けまたその周りを水が流れる吉相の石）



龍がうねった形の堀（豫園の住人は身分の高い人だった）



風が抜ける室内空間



「下三輪玉谷戸横穴墓群」の3号墓

かどうかわかりませんが、水はけがよく、風が通り抜けるような位置にありました。

建築の導線計画では、住宅ほか、特に工場、物流施設の設計ではものの流れが滞らないように考慮することが大切です。建築設計で当たり前のことを考えることが風水的にもよろしいと考えられます。日本の空港、港などは規模が国家規模に比較し、小さく物流がよくなく（大きな船が、入港できないとか、滑走路等の問題）凶相の面が多々見えます。お隣の中国の空は高度経済のおかげで塵埃が多く、風水の考えからすると凶相といえます。

今でも「豫園」は外国人観光客が絶え間なく訪れ、周辺街区もとても賑やかです。

都市では京都（平安京）とか大阪は北、東、西に山があり、南が開けていて、風水的に良く考えられたところと思えます。ちなみに古代の墓はどうなっているかと、町田市三輪町にある古墳時代後期の「下三輪玉谷戸横穴墓群」を訪ねると山を背に南斜面に4基並んでいました。この頃、風水的な考え方があった

～支部だより～

横須賀支部だより

横須賀支部 支部長 安田 孝至

平成22年6月6日(社)神奈川県建築士会と(社)神奈川県建築士事務所協会の横須賀両支部で丹沢大山ハイキングを企画し会員を募り実行いたしました。

蓋を開けた所、なんと参加人員は合計で4名少なくがっかりするやら、ほっとするやら。(逆に大人数の出席では、危険箇所もある為責任者が皆の面倒を見るのが大変)

9時20分秦野からヤビツ峠行きのバスは満員で30分ほどかかり峠に到着。準備運動の後に10:20大山安阿利神社山頂目指し出発。当日の天候は曇り少々の風もあり絶好の登山日和。山はこの時期新緑が映え最も美しく気持ちいい。途中3回ほどの休憩を取り12:00山頂に到着まずは神社にお参り

し、さっそく売店でビールを購入。まずは一口あぁ～うまい。霞はかかっていたが下界を眺めながら食らう握り飯。私にとって最高のごちそうである。

山頂で偶然6月16日放映の「いい旅夢気分」の撮影が行われており、テレビで見慣れた女優さんも見ることが出来ました。13:00山頂を出発、見晴台を經由し神社下社でまたまた参拝、年寄り4人組の頼れる物は神様のみ。歩いて下山予定だったが、疲労の為急遽ケーブルに変更し、15:00に下山。伊勢原支部長に紹介して頂いた「大山豆腐料理店 小川屋」に出向き、おいしい豆腐料理と美酒(美人女将の接待)で至福の時を過ごす事が出来ました。終わり。

次回は上高地、乗鞍岳を計画しておりますので支部会員の出席まってま～す。



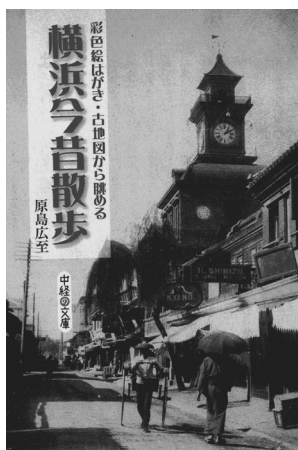
読者の広場

本の紹介『横浜今昔散歩』

横浜支部 佐藤 光良

今月の本の紹介は、私の地元横浜について書かれた手軽な歴史と観光の手引書です。横浜開港から始まり、野毛迄14章に亘っての「横浜今昔散歩」というルポです。作者は原島広至氏で発行所は(株)中経出版です。価格は税別657円。彩色絵葉書と古地図を中心に現代の風景との比較や、すでに解体された建物の由来など、横浜に興味を待たれている方に子守歌代わりに読める文庫本です。色がレトロな風景を良く表現しています。私自身歴史的建造物にとっても興味を持ってい

ますが、タイムマシンに乗っても訪ねて行きたい昔の横浜です。同じ作家の姉妹本「東京今昔散歩」よりずっと身近に感じる一冊です。



木造住宅等の増改築に関する講習会 開催報告

木造特別委員会 副委員長 福田 亮一

去る、6月8日(火)の午後、神奈川県建設会館講堂において木造住宅等の増改築に関する取扱いについてをテーマとする講習会を開催致しました。当日は72名の会員の方々に受講いただきました。講習の内容としては建築確認手続き等の運用改善に関する概要や法20条の緩和条件、書類関係の書き方の説明について等、(株)神奈川建築確認検査機関の方々を講師にお招きし、約3時間半におよぶ内容となりました。そして最後には質疑応答も行われ意見の交換も行われました。

私は、緩和条件とはエンドユーザーにとっての緩和であって欲しいと思ったのですが、あまり活発な意見交換には感ぜませんでした。事前に質問内容や方法を考慮しておけばよかったの

ではと反省しております。

木造特別委員会としましては会員の皆様の皆様にお役に立てるよう、勉強会の開催等も計画しております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



9

? 旅のクイズ 第2回 ? ? ?

問題

先月号に続き鉄道に関するクイズです。難しい駅名は各地にたくさんありますが、今回は皇太子ご夫妻の御息女愛子さんに因み「愛子」駅を問題としました。何線にある駅名でしょうか。何線と駅名両方お答え下さい。

答えをメールまたはFAXにて事務局までお寄せ下さい。今回も正解者の中から抽選で御一人に3000円の図書券を差し上げます。(応募書式は問いません。)

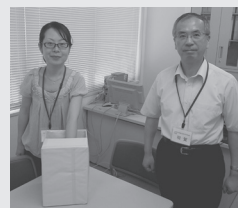
(FAX: 045-212-3807 E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り: 8月20日(金) 当選者は9月号にて発表予定です。

尚、先月(7月号)の正解は山形新幹線・奥羽線の山形駅から羽前千歳駅までと秋田新幹線・奥羽線の大曲駅から秋田駅までです。応募者全員が正解でした。

【正解者】・県西支部 ソシオ・アーキテクト 小林幸一様
・川崎支部 (有)金子建設一級建築士事務所 金子成司様
・賛助会 ビイック株式会社 小沼孝男様
・二宮町 都市経済部都市整備課 河村 様

正解者の方の中から厳正なる抽選の結果、二宮町都市経済部都市整備課 河村様が当選されました。出題者S「参りました。皆様大した知識です。」



第8回(社)神奈川県建築士事務所協会 委員長会報告

開催日時：平成22年7月8日(木)

会 場：(社)神奈川県建築士事務所協会 2F会議室

出席者：13名出席 事務局2名 計15名

○各委員会報告

【木造特別委員会】

- * 木造住宅等の増改築に関する講習会を6月8日(火)に神奈川県建設会館にて開催した。受講申込73名、内、当日受講者は72名。
- * 各市町村の耐震診断補助基準の現状調査については6月末締め切りとし、未提出の支部については担当委員より再度依頼する。
- * 設計事務所として行わなければならない書類等の問題点の提起・検討については現在、委員会内で検証作業を行っている。

【「住・家・緑」運営特別委員会】

- * 22年度「日事連建築賞」については小規模建築部門への応募作品について一次審査を行い、推薦することで決定した。
- * 森林循環フェア2010を10月22日(金)～24日(日)小田原アリーナにて開催。
- * 「住・家・緑」登録事務所と県木連との合同会議を6月18日(金)に開催し、活動内容や実績の報告、また、コンペ規程の確認や意見交換も行った。

【設計監理指導委員会】

- * 「工事業者等の倒産に伴うトラブル対処法について」というタイトルで、調査鑑定研修会を9月10日(金)に情文ホールにて開催。
- * 神奈川県版紛争マニュアル作成について、現在項目ごとに担当を分け、取り纏め等の作業を行っている。

【ブロック支部委員会】

- * 新入会員への特典（会員証入れ）について新入会員へは配布を開始した。
- * セカンドオピニオン機能については、今年度を検討期間、来年度前半を準備期間とし、その後スタートしたい。
- * 建築士事務所キャンペーンを11月13日(土)～14日(日)会場：ダイナシティ小田原ロビンソン百貨店にて開催。県西ブロックにて現在企画検討中である。
- * スポーツ大会開催を10月16日(土)会場：江の島ボウルにて開催。

* 会員外を含めたネットワーク（連絡網）の構築を検討中。

* 支部長合同ブロック支部委員会を6月23日(水)県央ブロックにて開催した。

【広報情報委員会】

- * 誌面構成については現在10月号までの構成が終了。
- * HPについては担当部会を設け、内容を精査中。
- * 日事連にて取り纏めた苦情解決業務事例集を会報誌へ掲載してもよいか日事連へ確認する。

【企画業務委員会】

- * 「街並み散策ぶらりマップin神奈川」をHPへ掲載した。
- * 作品や写真等の展示を目的に、パネル展示用のピクチャーレールを神事協議室に取付け、今後、様々な展示会等を企画する予定。
- * マンションの大規模修繕に関する講習会、省エネ法関係研修会それぞれの実施を計画中。
- * まちづくり特別委員会（仮称）の設立について、企画業務委員会にて立ち上げ、創立を行う。
- * 10月21日(木)に横浜市技能文化会館にて開催される賛助会フェアへのセミナー実施について各委員会に協力依頼。賛助会も含め、神事協全体を内外へアピールする機会としたい。

【技術調査委員会】

- * 現在進行中の案件（工事監理ガイドライン、建築における環境問題、仕様書等の改訂）については、10月までにはひと区切りつけたい。

【総財務委員会】

- * 弔事における花輪を供える件については理事会に検討事項として提出をする。
- * 会員の証について、総財務委員会にて3点を選び、理事会にて最優秀、優秀などの賞を決定する。
- * 9月22日に健康教室、11月13日にウォーキングをそれぞれ開催する予定。
- * 事務局の榎本職員が7月末にて退職するため、8月より職員の事務担当が一部変更となる。
- * 行政懇談会を9月2日(木)に開催する。

* 詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

技術調査委員会

委員長 西倉 哲夫

平成22年度に入り、技術調査委員会は4月14日（移動委員会）・5月20日・6月17日・7月15日とすでに4回開催されました。今年度の目標は大きく分けると3つあります。一つは工事監理ガイドライン（非木造1000㎡程度で検査済証取得に必要な項目）をまとめる。二つ目は建築における環境問題について今までに収集した資料をまとめる。三つ目は特記仕様書・概要書と構造標準図を修正しまとめる。これら三つの課題について、芝担当副会長と私を除き、玉田副委員長を含めた9名で3班に分けて担当していただき、各部会にて整理した後全体で協議しまとめる予定であります。年内にまとめて来年

早々に会員の皆様に公表したいと考えておりますので、しばらくお待ちください。また、もうひとつ大きな企画があります。明治大学教授の菊池先生にお願いして、「2030年に向けたSC（サステナブルコンストラクション）のためのロードマップ」に関する勉強会をかねた講習会を開催する予定です。これは、エンドユーザーの意思決定による材料選択で建築物の耐用年数とトータルコストの予測を設計者が提案する必要があるという考え方です。年内に行うことで現在調整中です。決まり次第、会員の皆様にお知らせいたします。楽しみにお待ちください。

設計監理指導委員会

委員 清水 康弘

委員会では様々な取組みの中で、現在増田委員長のもと「神奈川県版紛争マニュアル」の作成に向け協議を重ねています。内容は会員（設計事務所）の為に役立つ内容とすることを柱に、契約に関する基本知識、建築関係の民法、建築基準法の法律との身近な問題を中心に取上げ、常に手元にある資料として編集を進めていますので御期待下さい。

また、9月10日(金)は調査鑑定研修会の開催を予定しています。研修会の内容は、起きうる身近な問題として「工事業者の倒産に伴うトラブル対処法について」と題し事例を交えて星野

弁護士、当委員会委員に分かり易く且つ適切な解説を頂く予定ですので是非この機会に研修会の参加をお待ちしています。

この他にも、当委員会では毎週水曜日の午後1：30から4：30まで2名の委員が苦情解決業務の相談を受けていますが、毎回様々な苦情というより相談が多く寄せられています。

委員は問題解決の助けとなるようアドバイスを行っていますが、相談件数は増加の傾向を示しています。今後も会員の皆様に役に立つ設計監理委員会となる様頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

企画業務委員会

副委員長 藤川 好一

企画業務委員会も早、二年目を迎え、委員会メンバー丸となって、協会メンバーの更なる向上を目指して業務遂行に努めています。「たのしい」「たのしく」を基本に、企画の方にも力を入れて活動しています。特筆すべきことは、1. 見学会関係、2. 会員相互の親睦、情操教育、癒しの目的関係、3. 会員の特権、資質の向上研修会「いまさら聞けない」シリーズ、標準仕様書（木造編）の講習会、4. その他（家相、色の話し、光・照明の話し、話し方・話術、消防法の講習会、建物の安全・安心

について）等を現在検討中です。

業務の方では、1. 講習会関係（省エネ法関係）、マナー講習会、2. CPDについて（登録方法の周知）3. 告示15号に基づく業務報酬基準（神奈川県版）4. その他（マンション大規模修繕対応事務所名簿作成）等を検討しています。

少しでも多くの情報を、楽しい事業を協会メンバーに提供するべく活動していますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

第8回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

ひとすじの飛行機雲や夏の空

(相模原文部 小林忠志)

片蔭の残るうちにと散歩せり

(相模原文部 小林忠志)

雨の中ノウゼンカズラの笑顔かな

(横浜支部 良酔)

君に聞く青田遙かにホタル舞う

(川崎支部 雲休)

北畠の燃えるいのちや蟬しぐれ

(事務局 走友)

稲妻の切りさく闇に烏帽子岩

(事務局 走友)

【短歌】

南アからブゼウの音静かなる病室に満ち騒々しき哉

(川崎支部 雲休)

【川柳】

これもエコ布の少なき水着かな

(相模原文部 小林忠志)

喫煙家嫌われさすらいどこへ行く

(横浜支部 良酔)

花火の日制服となるゆかたかな

(事務局 走友)

賛助会新入会員紹介

中央開発株式会社 (担当：加藤 史恵)

平成22年4月入会

住所：〒169-8612 東京都新宿区西早稲田3-13-5

TEL：03-3208-5252 FAX：03-3232-3625

弊社は、皆様のご愛顧により創業64年になります。建築分野では、低層から高層建築物の地盤調査の他、土壌地下水汚染調査、道路や擁壁、下水などの外溝設計を実施しています。近年では、地盤情報配信サービス、地盤保証サービス（SWS、平板載荷、ボーリング調査、表面波探査、微動アレー探査を登録）、防災アセスや環境土木に力を入れています。

豊富な実績と技術士133名のスタッフがカバーします。ご愛顧の程お願い申し上げます。

ユーディーアイ確認検査株式会社 大和支店 (担当：八巻 勝浩) 平成22年7月入会

住所：〒242-0021 大和市中央2-2-8 ケントハウスビル3階

TEL：046-200-6893 FAX：046-200-6896

大和支店では、神奈川県のみならず東京都・埼玉県・千葉県・茨城県の全域と群馬県の一部のエリアを受付できます。スピーディーかつ正確な審査で一日も早くお客様にお渡しできるよう努めております。フラット35、住宅エコポイント、瑕疵担保保険、省エネラベル、長期優良住宅、住宅性能評価の受け付けも可能です。事前相談等も承りますので、是非一度ご利用ください。スタッフ一同お待ちしております。

会員異動報告

入会

横浜支部

(株)K・スペースデザイン一級建築士事務所 小関 信行
〒231-0862 横浜市中区山手町27-5 ベイステージ元町505
TEL.045-663-8651 FAX.045-663-8652
一級建築士事務所サワザキ環境設計 澤崎 浩
〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町67-5
TEL.045-715-4493 FAX.045-715-4493

厚木支部

積水ハウス(株) 神奈川シャーマン支店一級建築士事務所 高橋 勝彦
〒243-0018 厚木市中町4-4-13
TEL.046-296-1600 FAX.046-296-1616

退会

川崎支部

(株)プライア・コンサルタント 巖 駿

横須賀支部

坪田一級建築士事務所 坪田 國弘

変更

横浜支部

かながわ建物保全(株) (中)
(会員名変更) 西野 昇
to Design (旭・泉・瀬谷)
(TEL変更) TEL.050-1007-2940
(有)エスシー・テクニカ (磯子・金沢)
(社名変更) (株)エスシー・テクニカ
(株)フジタ横浜支店一級建築士事務所 (中)
(TEL・FAX変更) TEL.045-661-5618 FAX.045-661-5621

川崎支部

(有)堤設計 (幸)
(所在地変更) 〒212-0052 川崎市幸区古市場1-15-11

横須賀支部

エムエフ建設(株)一級建築士事務所
(所在地変更) 〒238-0315 横須賀市林1-1-1
(株)バル企画
(所在地変更) 〒231-0033 横浜市中区長者町5-75-1
(TEL・FAX変更) TEL.045-243-2030 FAX.045-243-2031
ミーズ設計連合協同組合
(会員名変更) 古谷 雄一

相模原支部

福井建築設計一級建築士事務所
(会員名変更) 鈴木 祐子

共済会会友異動報告

本郷 照一
(住所変更) 〒230-0001 横浜市鶴見区矢向3-3-14

賛助会会員異動報告

入会

ユーディーアイ確認検査(株) 大和支店
〒242-0021 大和市中央2-2-8
TEL.046-200-6893 FAX.046-200-6896
【代表者】関根 健太郎 【担当】八巻 勝浩
【営業内容】建築確認検査・住宅性能評価・エコポイント住宅証明発行
適合証明・長期優良住宅技術的検査・住宅瑕疵担保責任保険
住宅省エネラベル適合性評価業務

退会

明和トラスト(株)

変更

(株)INAX首都圏統括支社 横浜支社
(社名変更) (株)INAXサンウエーブマーケティング 横浜第1支社 横浜第1営業所
(株)直喜屋
(社名変更) (株)ナオキヤリフォーム工業
(所在地変更) 〒231-0058 横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通り公園I-902

会 勢

平成22年7月9日現在

支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	273	6	3	3
川 崎	94	93	2	3	-1
横 須 賀	57	55	0	2	-2
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1
藤 沢	21	22	1	0	1
鎌 倉	31	32	1	0	1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	22	22	0	0	0
厚 木	36	38	2	0	2
座 間	11	12	1	0	1
海 老 名	14	14	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	87	87	0	0	0
県 西	51	50	1	2	-1
合 計	786	789	14	11	3
賛助会員	65	67	3	1	2

8月の行事予定

8月4日	広報情報委員会
5日	管理建築士講習(会場:パシフィコ横浜アネックスホール)
6日	企画業務委員会
10日	技術調査委員会
12日	総財務委員会
19日	正副会長会 理事会 ブロック支部委員会
25日	設計監理指導委員会
26日	「住・緑・家」運営特別委員会 賛助会事業計画検討会
27日	適合証明技術者登録講習(会場:横浜市開港記念会館)
30日	AUTO-CAD研修会 1日目
31日	マンション等の大規模修繕業務対応事務所養成研修会 (会場:横浜市技能文化会館)

編集後記

私が初めて見たワールドカップはマラドーナのとき。世界のハードルの高さに唖然としていた。今年のワールドカップの主役は日本。ここまできた日本人の底力にワクワクどきどき。真夜中の応援で寝不足気味の頭の中をこれからの日本まだまだ期待が持てるでしょう。会員の皆様も編集の皆様も、肩組み合って励まし合ってみなで丸となって頑張っていきましょう。
(横浜支部 川島 良夫)

かながわ 平成22年8月号(通号346号)

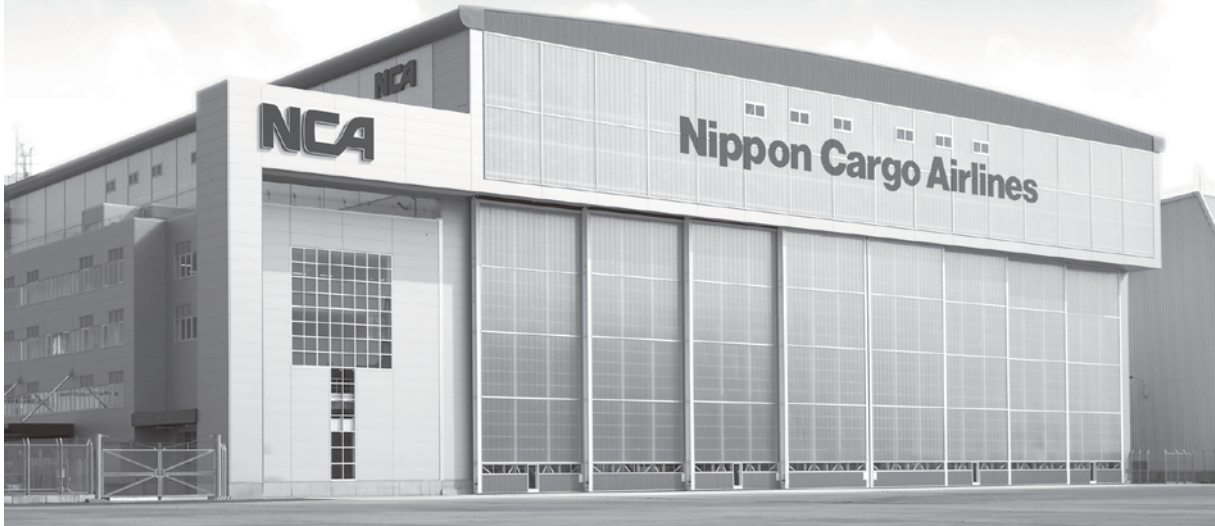
定価420円(消費税込)

発行 平成22年8月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小林 忠志
広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎
広 報 情 報 委 員 稲葉 勉
川島 良夫
遠藤 世一
小泉 厚
後藤かをり 杉崎 雅治
竹尾 秀一 新倉 良一
野口 友弘
事 務 局

ポリカーボネート樹脂製 大型ジョイント式システムパネル材

 **タキロン[®]** ルメカーボ



キーワードは「光のファサードデザイン」

成田国際空港のNCA ライン整備ハンガー（航空機格納庫）には、タキロンのルメカーボが採用されています。環境にやさしいエコハンガーとして、さまざまな省エネ・環境保全策が施される中、「建物内部に自然光を効果的に採り入れ、航空機整備のための明るい作業環境を作る」という設計条件のもと、ルメカーボの優れた特長が認められ、採用にいたりました。

建物開口部や、ジャンボ機クラスの大型航空機が出入りする大扉には、ルメウォールを約6,100平方メートル、また、屋根のトップライト6基には、ルメウェーブが使用されています。ルメカーボの「耐衝撃性と採光性が高い」「中空ハニカム構造により、軽量で、剛性・断熱性が高い」「パネル接合部の気密性が高い」という機能面での特長により、自然採光に加え、空調効果を高める断熱性能や、中間フレームを大幅にカットすることによる意匠性についても高い評価を得ることができました。また施工性についても、パネルを連結するタイプなので良好です。ルメカーボによる大型採光システムの導入効果により、格納庫の中央部分で1,200ルクスの照度を保ち、昼間帯は照明点灯なしで整備作業を行なうことが可能となり、年間159トンのCO₂を削減できる見通しとなりました。

製品の詳細については



 **タキロンマテックス株式会社**

営業開発部 TEL.03-5781-8101 採光建材部 TEL.03-5781-8101



防滑性とメンテナンス性を両立した 遮熱タイプの床材

タキストロン[®] CX

幼稚園・保育園の先生方、職員の方々、園児の皆さんに
アンケートを実施し、皆様の声をもとに開発しました！



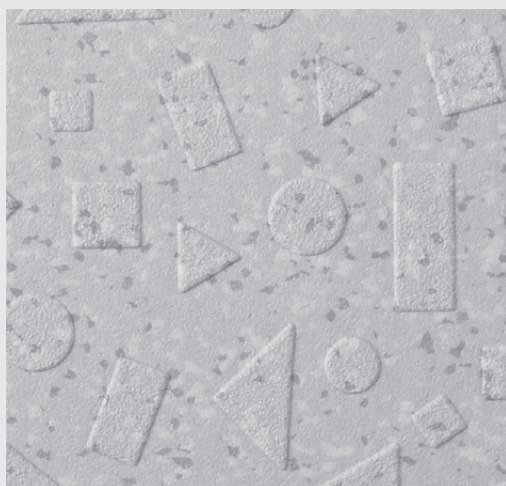
はだしで歩く機会も多い犬走りで安心して過ごせるよう、夏場でも熱くなりにくい遮熱構造にしました。

■品種 / 防滑性ビニル床シート

■用途 / 幼児施設 犬走り専用

寸 法 巾1820mm×長さ10m・厚さ2.5mm

梱 包 10m/巻 色 数 5色



表面凸部の間隔を従来品よりも広くし、日常清掃で使用するほうきでの掃き出し性を向上しました。



製品の詳細は



タキストロン CX

検索

タキロンマテックス株式会社

東京支店 TEL.03-5781-8150

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

◆賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
(「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます)
本会の先生方限定のお得な情報(会員様限定の割引価格などなど)をHPに掲載(掲載費無料)

◆会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!!(掲載費無料)

お問い合わせは…担当：広報委員 西村真一 (三洋工業株式会社)

TEL : 03-3685-3452 Mail : shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp